

学校だより

【第1号】平成31年4月24日発行

＜群馬県立しろがね特別支援学校通信＞



「友情」「笑顔」「元気」 が教育の柱

群馬県立しろがね特別支援学校 校長 高橋 玲

みなさま はじめまして。今年4月からしろがね特別支援学校でお世話になることになりました、校長の高橋玲（たかはしあきら）と申します。県教育委員会特別支援教育課から来た新任校長です。どうぞよろしくお願いいたします。

前任である加世田校長の意を受け継ぎ、「友情」をはぐくみ、「笑顔」で活動し、みんなが「元気」になる学校を目指して学校経営にあたる所存です。

皆様には、なお一層のご理解とご協力のほどをお願い申し上げ、簡単ではございますが着任の挨拶とさせていただきます。

【入学式より（校長による式辞から一部抜粋）】

新入生の皆さん、しろがね特別支援学校には「友情」「笑顔」「元気」という校訓があります。

まずは「友情」です。皆さんはとても正直で、優しい人たちです。ですから、どんなときにも、正直に、優しさを持って、人と接してください。仲間を大切に思いやり、友情をはぐくんでください。

次に「笑顔」です。皆さんにはとても魅力があります。ですから、その魅力あふれる笑顔で、これから出会うたくさんの人たちと挨拶をしてください。その魅力あふれる笑顔を、一層素敵に輝く笑顔にしていってください。

そしてもう一つ、「元気」です。皆さんには心の元気と体の元気を身にまとう準備ができています。高等部三年間の頑張りや、皆さんの将来を支える大切な力となります。この学校で、自らを鍛え、自信を持って様々なことにチャレンジし、未来を生き抜く元気を身に付けてください。

「友情」「笑顔」「元気」という三つの校訓を大切にして、皆さんが明るく生活していくことを願っています。

～入学おめでとうございます～

平成31（令和元年）年度の入学式が、4月9日火曜日に、群馬県立しろがね特別支援学校体育館において行われました。入学生は、高等部1年生19名。高等部主事に名前を呼ばれると、皆はしっかりと返事をして立ち上がり、胸を張って起立していました。代表の生徒が「誓いの言葉」をしっかりと述べ、とても頼もしく思われました。ようこそ「しろがね」へ。

